

機動戦士ガンダム00外伝とは…

アニメ「機動戦士ガンダム00」の公式外伝。ホビージャパン（ホビージャパン）、電撃ホビーマガジン（アスキー・メディアワークス）の模型誌二誌と、ガンダムエース（角川書店）の漫画誌一誌で展開。外伝の製作スタッフは、監修として本編の水島精二監督、黒田洋介氏が全面的に参加。シナリオは同じく本編のSF考証を務める千葉智宏氏が担当する。また作品に登場する魅力的なメカは、すべて本編のメカデザイナーが外伝のために描き起こしている。このスタッフを見ただけでも、本作の外伝が「外」という枠を大きく出た、「本伝」の一部であることが理解できるだろう。それを裏付けるようにアニメ本編との運動もかなり強い。

「信じればメカは応える。頼むぜ女神アストレア！」



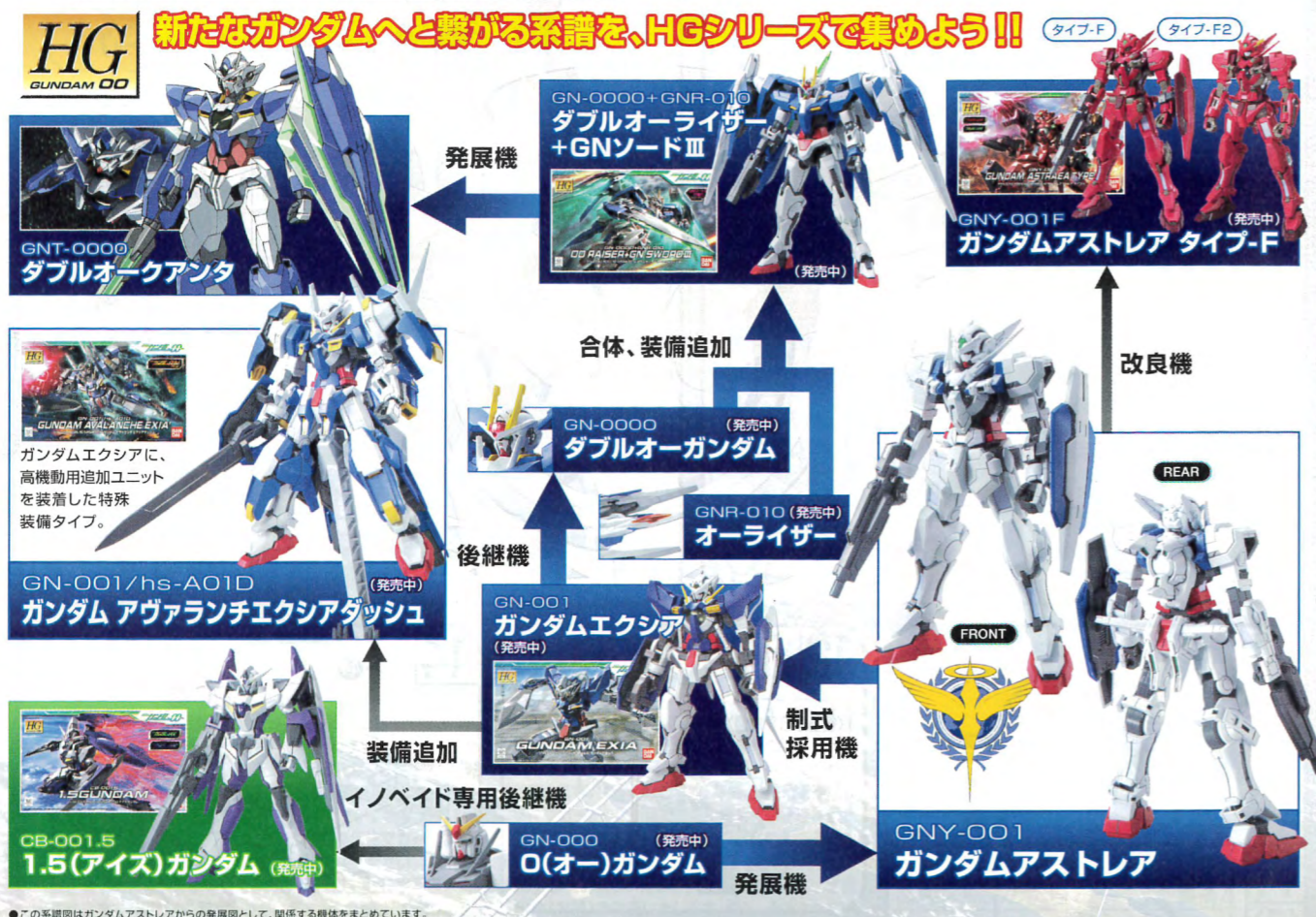
組織が所有するスペースコロニー「クルンテール」。その内部でガンダムのテストが繰り返されていた。「はっ」プロトGNソードを装備したアストレアが、カーボン製のターゲットを切り裂く。シミュレーションでは、ぎりぎり不可能と判断されていた行為だ。コクピットの中でマスターのルードは強く感じた。信じてやれば人もメカも同じように応える。特に「正義の女神」の名を持つこの機体は、武力による紛争の根絶のため、自ら進んで力を発揮してくれる。「頼むぜ女神アストレア」ルードは、やさしく語りかけると新たなテストに入った。

撮影：GG-エルクラフト/協賛：電撃ホビーマガジン

本編では語られることの無かったモビルスーツの戦いを描き出す…。独自開発された機動兵器「ガンダム」。それを所有する「ソレスタルビーイング」は、長い時間をかけてガンダムを開発した。この物語は、天才科学者イオリア・シュヘンベルグの理念に共感し、自分たちの青春をかけてガンダムを開発した男たちの物語である。

公式ホームページ <http://www.gundam00.net/SS/index.html>

GENEALOGY CHART

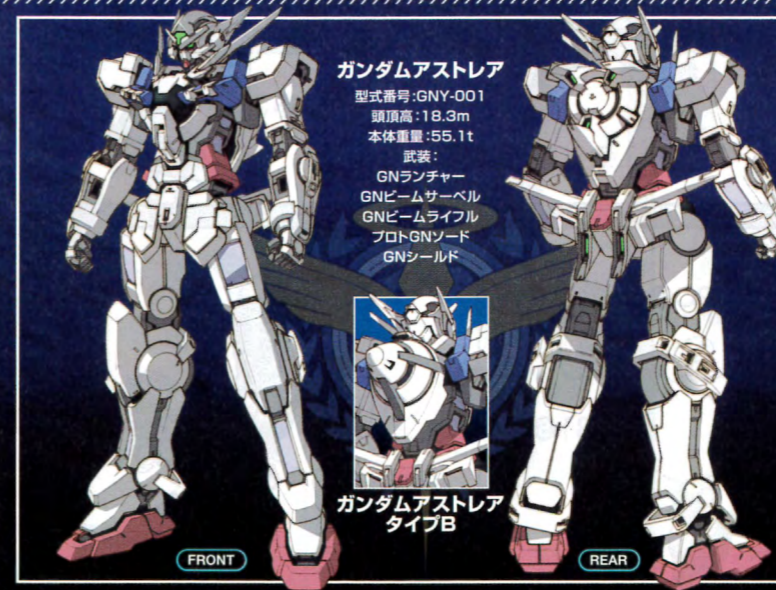


HG GUNDAM 00



GNY-001 GUNDAM ASTRAEA
1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM 00-65
ガンダムアストレア

写真はイメージです。



ガンダムアストレア
型式番号:GNY-001
頭頂高:18.3m
本体重量:55.1t
武装:
GNランチャー
GNビームサーベル
GNビームライフル
プロトGNソード
GNシールド

ソレスタルビーイングが武力介入を開始する15年前、実戦に投入するためのテスト機として開発された。第二世代ガンダムの一機。アストレアの機体名は、タロットカードの「正義の女神」の名から付けられている。本機は、主に追加装備のテスト開発用に運用された。この機体を使って開発されたものには、GNビームライフルなどの標準装備品から、GNランチャーのような特殊武装まであった。これらのテストにおいて、アストレアは好成績を収め、その設計データは実戦への投入を想定した第三世代ガンダムへと引き継がれることになる。またGN-001 ガンダムエクシアは、機体のベースとして本機の設計データが使用された。同時にGNソードやGNプレイドなどのテストもこの機体で行われている。GNY-001B タイプBは、第三世代ガンダムで採用されるコーン型の太陽炉のテスト機であったが、機体とのバランスがうまく取れず、一通りの運用データを回収したのち、スリースラスタ型に戻されている。最終的に本機はGNY-001F タイプFに改良され、サポート組織「フェリシテ」で運用された。

PILOT
ルード・レゾナンス 男性。25歳。技術者としても高い技能を有するため、ガンダムの開発に参加することになった。パイロットとしても人並み以上の能力を持つが、「人と戦う」ことに積極的ではない。そのため、アストレアでの本格的な戦闘を何度も経験するうちに、彼の精神はひどく傷つけられることになる。しかし、仲間をサポートにより自身の責任を果たし、紛争根絶のために活動が続けられることが出来た。トレミーメンバーのフェルト・グレイスは彼の娘である。

COLOR GUIDE

●よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご確認ください。
●塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
※カラー配合値は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

<p>本体等ホワイト部</p> <ul style="list-style-type: none"> ホワイト(100%) +ネービーブルー(少量) 	<p>胸等ブルー部</p> <ul style="list-style-type: none"> コバルトブルー(60%) +インディブルー(30%) +ホワイト(10%) 	<p>胴体、足等レッド部</p> <ul style="list-style-type: none"> モンザレッド(100%) 	<p>武器等グレー部</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュートラルグレー(90%) +ブラック(10%)
<p>脚部等ライトパープル部</p> <ul style="list-style-type: none"> ホワイト(90%) +パープル(5%) +スカイブルー(5%) 	<p>レンズ等タークグリーン部</p> <ul style="list-style-type: none"> ネービーブルー(80%) +ティトナグリーン(20%) 	<p>目ライトグリーン部</p> <ul style="list-style-type: none"> ティトナグリーン(80%) +ホワイト(20%) 	



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所がありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

彫金をするところ	シールの番号	デカールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に同じパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	ピスの締めすぎに注意
切り取る場所	部品を数値の個数作り出す	先に組み立てます	後に組み立てます	数値に合わせて回転させます	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

パーツリスト (X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂: PS)

B1パーツ (スチロール樹脂: PS)

B2パーツ (スチロール樹脂: PS)

SB-9パーツ (スチロール樹脂: PS)

Cパーツ (ABS樹脂: ABS)

Fパーツ (スチロール樹脂: PS)

PC-123 (ポリエチレン: PE)

●シール.....1

※ランナーは一部気泡が入っているものもありますが、不良品ではありません。

1 (1)

※シールは先に貼ります。

1 (2)

※きれいに切り取ります。

GNドライブ (コーン型)

(選んで取り付ける)

※GNドライブ (コーン型) を選択した場合、F14は使用しません。

1 (2)

※きれいに切り取ります。

1 (3)

※GNドライブ (コーン型) を選択した場合、F14は使用しません。

1 (3)

※きれいに切り取ります。

1 (2)

※きれいに切り取ります。

1 (3)

※きれいに切り取ります。

2 (1)

※きれいに切り取ります。

2 (2)

※きれいに切り取ります。

3 (1)

※きれいに切り取ります。

3 (2)

※きれいに切り取ります。

3 (1)

※きれいに切り取ります。

3 (2)

※きれいに切り取ります。

3 (2)

※きれいに切り取ります。

3 (1)

※きれいに切り取ります。

3 (2)

※きれいに切り取ります。

4 (1)

※きれいに切り取ります。

4 (2)

※きれいに切り取ります。

4 (2)

※きれいに切り取ります。

4 (1)

※きれいに切り取ります。

4
(3)

4
(1)

4
(2)

C18 B128
(通んで取り付ける)

C16 B130

B141

5

2
つく
で作った頭部

3
つく
で作った右腕

4
つく
で作った左腕

(シール)

7
(2)

7
(1)

B142

B122

F42

B11

6
(1)

向きをかえます。

8
(1)

C12

B116

F20

B111

F19

8
(2)

B247

B117

F31

8
(1)

6
(1)

x2
2個作る

A26

PC6

B123

6
(3)

C26

B125

C8

B124

PC8

B14

B13

(後に組む)

(シール)

6
(2)

x2
2個作る

PC6

C15

※平らな面が
外側にきます。

9

8
つく
で作った腰部

C5

6
つく
で作った右脚

7
つく
で作った左脚

10

5

9

※バンダイプラモデルアクション
ベース2 (別売り) 差し込み用
(丸型) BA4-A9

6
(4)

6
(3)

B17

B18

(シール)

(両側貼る)

向きをかえます。

B142

B122

F41

B11

6
(1)

向きをかえます。

11
(1)

F3

F37

※奥までしっかりと、
はめ込みます。

12

(シール)

F29・F30

〈後ろから見た図〉

F36

(向きに注意)

14

F44

PCA

C28

F43

7
(1)

C26

B127

B126

C8

PC8

B16

B16

(後に組む)

(シール)

(両側貼る)

B110

B19

6
(2)

11
(2)

F1

C30

C29

11
(1)

F2

バチン

13

PCA

F13

F4

F45・F46

1 GNランチャー

肩のクラビカルアンテナを外して装着される、GNドライブ直結式火器。これが発展して、GN-005 ガンダムヴァーチェのGNバズーカになる。初期テストでは、放出されるGN粒子がバックファイヤーを起こして、銃全体から粒子が吹き出してしまった。調整によりバックファイヤーは押さえられたが、完全になくすためには、設計変更が必要である。なお、両肩にGNランチャーを装着したダブルGNランチャーでの運用も行われた。

2 GNビームサーベル

各国で開発が急がれているエネルギーの刃を持つ格闘兵器。ソレスタルビーイングでは、GN粒子を使用することで、実用化に成功している。ソニックブレイドやプラズマソードに対し、圧倒的な切れ味を持つ。刃の部分は粒子の反発拡散を防ぐように作られており、純粋なエネルギーの固まりでありながら実体剣と切り結ぶことができる。

3 GNビームライフル

エネルギーを高めたGN粒子を打ち出す、粒子ビーム砲。この時代、モビルスーツが携帯できるビーム砲の実用化に成功しているのは、ソレスタルビーイングだけである。使用される粒子量が膨大であるため、腕のコネクタに装着してパワー供給を受けて使用される。また、使用時以外でも、常に銃内部のGNコンデンサーに粒子を蓄えることにより、連続射撃が可能となる。

4 プロトGNソード

巨大な実体刃にGN粒子をまとわせ、ビームサーベルと実剣の両者の特徴を引き出した格闘兵器。大型の実体剣であるため、使用時以外は、折りたたむことで邪魔にならない工夫がなされている。GN-001 ガンダムエクシアに装備されるGNソードの原型となった武装。プロトGNソードは内蔵銃がなく純粋な格闘兵器だが、この段階ですでに銃を内蔵する計画があり、未完成であるため「プロト」の名を冠する。

5 GNシールド

Eカーボン製のシールド。ガンダム本体の装甲も、強固なEカーボンで出来ているが、腕に持つシールドは、フレキシブルに動くことで攻撃のショックをより吸収することが出来る。さらにこのシールドは、GN粒子をシールド表面に付着、コーティングすることで、耐ビーム兵器能力を上げたり、実体弾を磁気化して、その破壊力の加わる方向をシールドの表面で滑らせ、そらすことが可能となっている。



GUNDAM ASTRAEA
TYPE B
＜ガンダムアストレア タイプB＞
第三世代ガンダムで採用されるコーン型の太陽炉のテスト機。機体とのバランスがうまく取れず、一通りの運用データを回収したのち、スリースラスタ型に戻されている。

